

バナナはどこで栽培されているか

バナナは一年中暖かくて、雨の多い熱帯のくだものです。地球の赤道にそった「バナナベルト地帯」[※]で、栽培されていることがわかりました。

またバナナは、わたしたちが食べている生食用のほかに、煮たり焼いたりして食べる料理用もあって、300種類もあるそうです。

バナナベルト地帯

バナナが育つには、一年間の降水量が2500mm、平均気温が27度のあたたくてしめった気候が、もっともよいとされている。

赤道をはさんで北緯30°から南緯30°の熱帯・亜熱帯の地域である。地球をベルトのように取りまいてるので、このように呼ばれている。

生食

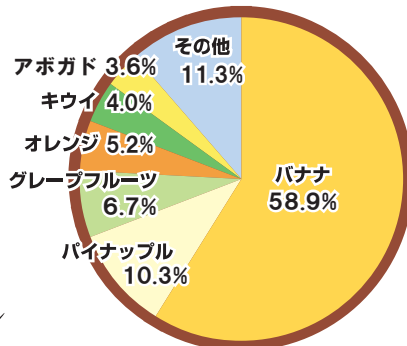
食べ物を生のままで食べること。

バナナが育つおもな国と地域

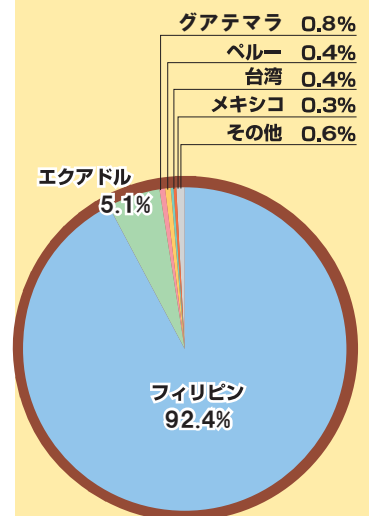


どのくらい輸入しているか

日本が外国から輸入しているくだもので、もっとも多いのはバナナで、全体の半分以上です。2番目はパイナップル、3番目はグレープフルーツです。また、輸入がもっとも多いのはフィリピンからで、そのほかに、エクアドルやグアテマラからも輸入しています。



輸入におけるバナナの割合(重量)



国別のバナナの輸入の割合(重量)

(2014年 財務省貿易統計から作成)